

## 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018

# 紅葉と夜のアート作品が鑑賞できる「ザ・ナイトミュージアム」

## 10月19日(金)～11月11日(日)に開催!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:秦雅夫)とそのグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)は、現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018」を2018年9月8日(土)から11月25日(日)に開催します。今年は山上の11会場を舞台に総勢37組のアーティストが展示やワークショップを行います。

本展会期中の10月19日(金)～11月11日(日)に「ライトアップされた紅葉とアート作品の夜間特別展示が鑑賞できる「ザ・ナイトミュージアム」を「六甲高山植物園」と「六甲オルゴールミュージアム」で開催します。

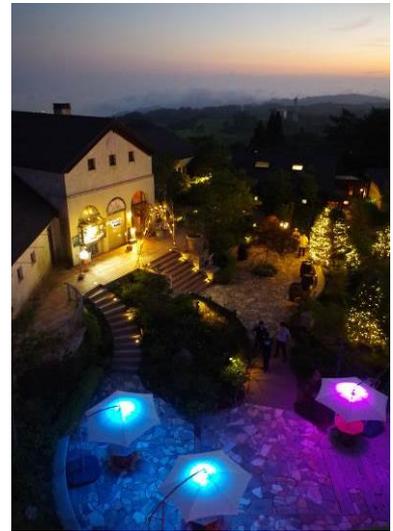
3回目を迎える本年は「ザ・ナイトミュージアム」限定作品を展示する他、映像作品と無声映画の野外上映など新たな取り組みも行います。

六甲ガーデンテラスでは「自然体感展望台 六甲枝垂れ」の期間限定スペシャルライティングを実施し、加えて夏に人気を博した「Summer Lighting Night Cafe」のパラソルライティングも復活します。さらに好評の安藤忠雄設計「風の教会」でも延長営業を実施し、外観ライトアップの他、昼間とは異なる空間で作品鑑賞をお楽しみいただけます。

※展覧会開催概要は別紙をご参照ください。



高橋匡太「Glow with Night Garden Project in Rokko  
提灯行列ランドスケープ」2016年 六甲高山植物園



Summer Lighting Night Cafe  
六甲ガーデンテラス

### ■ ザ・ナイトミュージアム

紅葉の見ごろ時期に合わせ、夕刻から夜間特別開園を行います。同企画では「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018」の会場内に展示されているアート作品のライトアップを行うとともに、映像アーティストの高橋匡太氏による来場者参加型のザ・ナイトミュージアム限定作品の公開も行います。

【日程】 10月19日(金)～11月11日(日)

【時間】 平日 17:00～18:30 / 土・日・祝日 17:00～19:30

【場所】 六甲高山植物園、六甲オルゴールミュージアム

【料金】 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018 鑑賞チケット」または

「六甲高山植物園」(大人620円、小人310円)、

「六甲オルゴールミュージアム」(大人1,030円、小人510円)の入場券

※会場となる2施設共通券も販売しています。

<初日は温かいスープの振る舞いがあります>

10月19日(金)にご来園いただいた方、先着100名様に「味の素株式会社」提供の「クノール」スープパスタを差し上げます。お湯元の電源は「日産プリンス兵庫販売株式会社」提供(期間限定)の本展オフィシャル電気自動車「リーフ」から供給します。  
配布場所:六甲高山植物園 西入口



「クノール」スープパスタ



電気自動車「リーフ」

その他、六甲山上施設で開催するザ・ナイトミュージアム関連イベントは次ページ目をご参照ください。

資料に関するお問い合わせ先 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018 事務局 広報担当  
TEL:078-894-2210(平日9:00～18:00) / FAX:078-894-2088

お客様のお問い合わせ先 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018 インフォメーション  
TEL:078-891-0048(平日10:00～17:00)

## <ザ・ナイトミュージアム関連イベント>

### ■自然体感展望台 六甲枝垂れ Special Lighting 開催概要

1000万色以上の色彩表現ができる最新の LED 照明を使い、限りなく自然光に近い光で、展望台全体を覆うフレームを内側から照らす光のイベントです。ザ・ナイトミュージアム期間中の限られた時間のみ鑑賞可能なスペシャルライティングを実施します。

【開催日時】 10月19日（金）～11月11日（日）  
平日／18：00～19：30 土日／19：00～20：30  
【場 所】 自然体感展望台 六甲枝垂れ  
【入場料金】 大人（中学生以上）300円  
小人（4歳～小学生）200円

※ライトアップは通常の入場料金のみで鑑賞可能  
※17：00～21：00の上記時間帯以外は『六甲山光のアート「Lightscape in Rokko」』秋バージョン「秋は夕暮れ」のライティングを実施  
※雨天の場合は営業時間を短縮する場合あり



伏見雅之『六甲山光のアート「Lightscape in Rokko」』  
自然体感展望台 六甲枝垂れ

### ■見晴らしの塔 Autumn Parasol Lighting スペシャルバージョン 開催概要

8月に「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018」の先行展示として実施し、人気を博した「Summer Lighting Night Cafe」のパラソルライティングがザ・ナイトミュージアム期間限定で復活します。エリア内の「見晴らしの塔」と特設パラソルを連動させ、幻想的な音色に合わせてライティングします。

【開催日時】 10月19日（金）～11月11日（日）  
17：00～21：00

※雨天・強風の場合、パラソルライティングは中止  
【場 所】 六甲ガーデンテラス内 見晴らしの塔前広場  
【入 場 料】 無料



Summer Lighting Night Cafe

### 安藤忠雄設計「風の教会」夜間延長営業決定！！

通常は鑑賞できない日没後の「風の教会」に入館することができます。外観のライトアップの他、昼間とは異なる空間で作品を鑑賞できます。

【日 程】 全9日間  
11月3日（土・祝）、4日（日）、10日（土）、  
11日（日）、17日（土）、18日（日）、23日（金・祝）、  
24日（土）、25日（日）  
【時 間】 10：00～18：30（18：00受付終了）  
※通常は～16：50まで営業

**風の教会の延長営業実施日は六甲山上バス（風の教会回り）を2便増便して運行します。**

六甲ケーブル山上駅⇒風の教会⇒六甲ガーデンテラス

ケーブル山上駅	風の教会	みよし観音前	高山植物園	カンツリーハウス	ガーデンテラス
17:40	17:44	17:46	17:47	17:48	17:50
18:20	18:24	18:26	18:27	18:28	18:30

六甲ガーデンテラス⇒風の教会⇒六甲ケーブル山上駅

ガーデンテラス	カンツリーハウス	高山植物園	みよし観音前	風の教会	ケーブル山上駅
17:50	17:52	17:53	17:54	17:56	18:00
18:30	18:32	18:33	18:34	18:36	18:40



さわひらき「absent」風の教会

## ◆「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018」開催概要

六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018 は六甲山の自然を感じながら、ピクニック気分現代アート作品を楽しむ展覧会です。

【会 期】 9月8日（土）～11月25日（日）※会期中無休

【開催時間】 10時～17時

※会場により17時以降も鑑賞できる作品があります。

【会 場】 全11会場

六甲ガーデンテラス、自然体感展望台 六甲枝垂れ★、  
 六甲山カンツリーハウス★、六甲高山植物園★、  
 六甲オルゴールミュージアム★、六甲ケーブル、天覧台、  
 風の教会★（グランドホテル 六甲スカイヴィラ会場含む）、  
 六甲有馬ロープウェー（六甲山頂駅）、  
 記念碑台（六甲山ビジターセンター） [プラス会場] TENRAN CAFE

【鑑賞チケット】 ★印の有料5施設を巡ることができる「鑑賞チケット」を発売

当日券：大人（中学生以上）2,000円、小人（4歳～小学生）1,000円

発売期間：9月8日（土）～11月25日（日）

※本チケットで有料5施設（「自然体感展望台 六甲枝垂れ」「六甲山カンツリーハウス」「六甲高山植物園」「六甲オルゴールミュージアム」「風の教会」）にそれぞれ会期中1回の入場（当日は再入場可）が可能です。有料5施設に入場後も、当日以外のお好きな日（～2019年3月31日）に、いずれかの有料施設に更に1回入場できる特典つきです。（冬季に閉園する施設もあります）

※風の教会は作品展示期間中（8月1日（水）～11月25日（日））のみ入場可能です。

※各施設へ個別で入場の場合は、5施設+1施設で合計大人3,370円～4,100円です。

※当日券はコンビニ発券端末からも購入可能。詳しくはwebサイト（<http://www.rokkosan.com/art2018/>）をご確認ください。

※当日券は学生証の提示で学生割引料金（1,800円）を適用

※六甲ケーブル、六甲山上バス、六甲有馬ロープウェーの運賃は含まれていません。

※プラス会場「TENRAN CAFE」の展示作品の見学については、カフェのご飲食利用が必要です。

【主 催】 六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

【共 催】 六甲摩耶観光推進協議会

【運営協力】 グランドホテル 六甲スカイヴィラ、一般財団法人神戸すまいまちづくり公社、  
 兵庫県神戸県民センター、大阪市立デザイン教育研究所

【特別協力】 一般社団法人 兵庫県宅地建物取引業協会

【助 成】 公益財団法人 神戸文化支援基金、

損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021ArtsFund）

【総合ディレクター／キュレーター】 高見澤清隆 六甲オルゴールミュージアム シニアディレクター

[敬称略、順不同]

## ◆作品イメージ

六甲山のエリア特性をじっくりと読み込み、自然や景観、歴史を採り入れた作品を各会場に展示します。



木村剛士《畑になる/人》  
2018年 六甲山カンツリーハウス



川上和歌子《金平糖ハウス》  
2018年 六甲ケーブル



佐川好弘《#ROKKO》  
2017年 自然体感展望台 六甲枝垂れ